

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、就職件数及び雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を最重要課題としていますが、米中貿易摩擦及び新型コロナウイルス感染症の影響等により、管内主要産業である製造業をはじめ、幅広い業種の求人数が大幅に減少したことから、求人者支援員を中心に積極的な求人開拓を行ったほか、令和2年8・11・12月には、管内事業所（約450事業所）あてに求人勧奨文を発送する等、正社員求人を含む量的確保を重点的に取り組みました。求職者に対しては、個々の求職者ニーズを踏まえた就職支援に努めた結果、就職件数は目標未達成となりましたが、雇用保険受給者の早期再就職件数は目標達成することができました。

また、求人者支援員を中心に、職業相談部門の職員・相談員が積極的に事業所訪問を実施し、正社員求人の求人開拓に取り組んだほか、作業風景や職場環境等の把握と併せて、事業所や業界の景気動向について聴取する等事業所情報の収集に努めた結果、正社員求人数についても目標達成することができました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

令和元年に実施したキャリアコンサルティング基礎研修を踏まえ、令和2年8月には職業相談部門の職員及び相談員を対象に、キャリアコンサルティング実技研修を実施し、キャリアコンサルティングの更なる技能習得、技能向上に努めました。

また、令和2年11月には、近年、精神障害や発達障害を持つ求職者が増加傾向にあることから、全職員を対象に窓口対応にかかる研修を実施し、精神障害者・発達障害者の特性について理解を深めました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人者の量的確保について、求人勧奨文の送付や電話による求人開拓のほかに、相談窓口において求職者に対して求人リクエストカードの周知徹底を図り、個別求人開拓を実施するなど求人開拓の強化に取り組みました。

また、コロナ禍における取組として、電話による職業相談や来所によらない紹介状の交付などの支援を行い、相談件数・紹介件数の確保に努めました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない中、新規求職者数が減少傾向にあり、これに伴い相談件数・紹介件数も伸び悩んでいる。このような状況下、主要指標（就職件数・充足数・雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成のため、求職者担当者制によるマッチングによる求人情報の提供をより積極的に行うほか、正社員求人や大量雇用求人などを対象としたミニ面接会や事業所見学会を開催するとともに、オンラインハローワーク紹介やオンライン自主応募の活用を図りながら、目標達成に向けて取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

特記事項なし。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援 窓口での65歳以 上の就職件数	
実績	2,580	2,379	889	109.0%	267	7,186	1,230	70	
目標	2,911	2,652	885	116.0%	198	7,076	1,397	52	
目標達成率	88.6%	89.7%	100.5%	94.0%	134.8%	101.6%	88.0%	134.6%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率